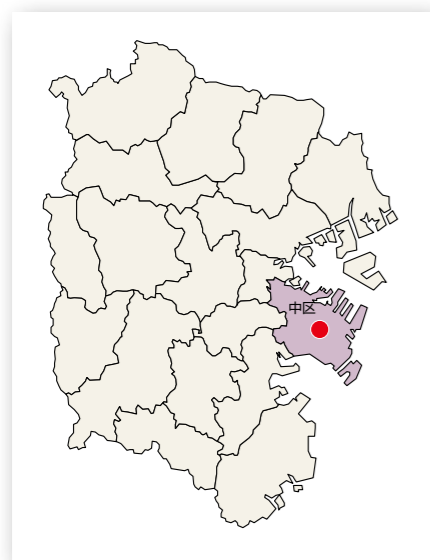
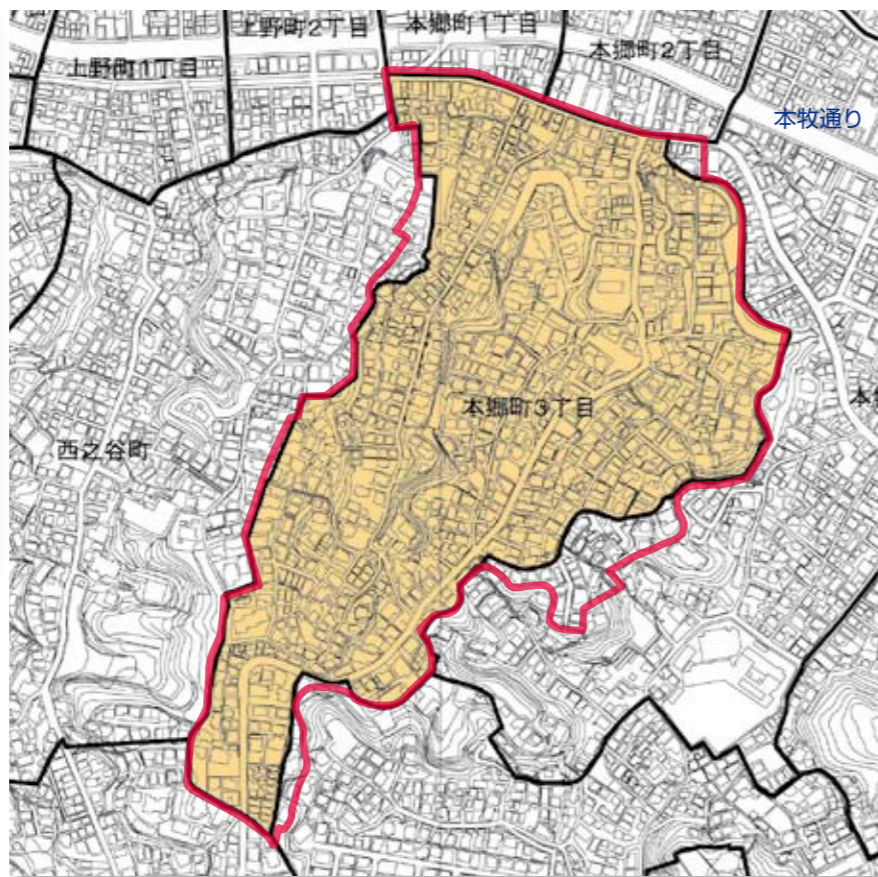


5. ほんごうちょうさん ちょうめ 5. 本郷町3丁目地区

●位置図



●区域図



●地域特性

本牧通りに囲まれた丘陵地に位置し、尾根道と谷戸の並行した2本の道路を中心とした地区。斜面地の緑は豊かで、眺望のよいポイントもあるが、その反面、公園などのオープンスペースが地区内に無く、急坂・急階段や狭い道路も多く、防災上の課題となっている。とくに地域防災拠点（地区外）までの経路にも階段や坂が多く、避難の支障になると推測される。

地区では以前から、地区内の空地（これまで駐車場や下水道工事の用地として利用）を公園として整備したいという要望があり、防災面でも一時的な避難場所や地域の防災活動の拠点として期待される。

いえ・みち まち
改善事業対象地域

協議会エリア

●地区諸元

協議会名	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会
協議会エリア面積	17.4ha
人口	約2,600人（H17国勢調査結果より集計・推計）
組織体制・メンバー構成の概要	役員 会長1名 副会長1名 他10名 運営委員 28名（第1町内会14名 第2町内会14名）必要に応じて、下記の部会を設置 コミュニティ部会（各種イベントの企画、広報、ネットワークづくり等の活動） いえ・みち部会（災害に強い建物づくりや道路拡幅のための普及活動） みどり部会（公園、小広場等の計画づくりや維持管理活動）
プラン名	住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画

●経緯

H17.3	第1回勉強会の開催
H17.3	まちづくりニュース第1号発行
H17.5	町内再発見ウォーキング
H17.11	防災まちづくり計画に関する第1回アンケートの実施
H18.1	アンケートについて結果公表
H18.2	防災公園を実現するための検討
H18.4	防災まちづくり計画の検討
H18.8	まちづくりイベントの開催
H18.11	まちづくり協議会設立総会 地域まちづくりグループ登録
H19.1	第1回 運営委員会の開催
H19.2、11	防災まちづくり計画に関する第2、3回アンケートの実施
H19.12	防災イベント開催
H20.3	臨時総会において、「防災まちづくり計画」を承認
H20.12	地域まちづくり組織、地域まちづくりプランとして認定
H21.4	住宅市街地総合整備事業に着手
H21.6	防災イベント開催
H21.11～ H22.3	第1～3回防災公園整備に向けた意見交換会 防災公園整備内容に対するアンケート実施
H22.4	地域まちづくりルール検討開始
H22.11	防災イベント開催
H23.9	公園愛護会結成総会
H24.3	地域まちづくりルールの素案作成及びアンケートの実施



防災公園の整備を目標に、暮らしやすさ向上の幅広い取り組み

活動内容（活動成果）

- 平成17年3月から勉強会が始まり、協議会が設立してからも継続的に、月1回、「まちづくりニュース」を発行している。全戸に配布しているため、協議会に参加していない住民にも内容を周知している。
- 防災まちづくり計画の作成に向け、地区の課題を抽出するため、18年度から20年度にかけてまち歩きを行った。その結果、お互いに気づかなかった課題も見発見することができた。
- 防災まちづくり計画の作成のため、17年度から19年度にかけて、全戸配布のアンケートを3回実施している。第1回（地区の課題やまちづくりの必要性の把握など）第2回（地図の指摘等による具体的な課題の把握など）第3回（防災まちづくり計画案に対する意見、提案の募集）
- 19年度から定期的に地域住民の防災意識を高めるため、起震車体験や消火器体験、救命訓練などの防災イベントを開催している。普段は協議会に参加していない若い住民が関心を持って参加するようになった。
- 20年度には、災害時の避難等に活用してもらうため、町内会ごとに活用できる「防災マップ」を作成した。その結果、災害時に使用する消火栓等の位置や避難ルートの確認をすることができた。
- 21年度には防災公園の整備内容について、アンケートや意見交換会を行い、地域住民の意見を公園の計画に反映させた。
- 22年度から「災害に強いまちにしていくためのルール」や「安心して暮らせるまちにするためのルール」などの検討を行い、24年3月に地域まちづくりルールの素案を作成した。



防災イベントの様子



防災マップ

活動の中の工夫点

- 地域住民の意見をいつでも聞けるように、上台集会所に「ご意見箱」を設置しました。
- 駐車場などの民有地を、地権者の協力のもと、「いっとき避難場所」として活用しています。
- 防災的な取り組みだけでなく、カーブミラーの設置やコミュニティバスの導入など、暮らしやすさの向上に向けた取り組みについても、地権者や行政機関等と調整するなど、幅広い取り組みを行っています。



いっとき避難場所



まち歩きの様子

住みよいまち・ 本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画

防災公園の整備を目標に、
暮らしやすさ向上の幅広い取り組み

Topics

まちづくりの目標の一つとして、「美しいまちにしよう」をテーマに、地区内の斜面緑地や古木などの緑の保全、地域資源（お地蔵さん、観音様、おいなりさんなど）を活かした景観スポットの整備などが、「防災まちづくり計画」に位置付けられています。



検討の様子



計画内容の概要

■ 「住みよいまち」に向けての 総合的な取り組み

防災まちづくり計画として、「安全なまちづくり」に関する地区の現状と課題の確認は欠かせないが、「住みよいまち」を目指す協議会としては、「安全」の中には防災の他に防犯や交通安全の視点を入れる一方、「美しいまちづくり」に関する現状と課題の整理を行い、地区内の緑や景観、住民マナーなど、総合的にまちづくりの課題を取り上げている。

地区の全体計画の柱も、災害に強いまち、安心して暮らせるまち、美しいまちを並列させている。

■ 計画の構成

● 地区の全体計画

- (1) 災害に強いまちづくりへの取り組み
- (2) 安心して暮らせるまちづくりへの取り組み
- (3) 美しいまちづくりへの取り組み
- (4) まちづくり活動の展開のための仕組みづくり

● 当面のまちづくりの重点プロジェクト

- (1) 防災公園・広場の整備
- (2) 公園以外のいっとき避難場所の確保
- (3) ゴミ集積所のモデル整備
- (4) 重点整備路線の整備
- (5) 安心・安全で楽しいネットワークづくり

計画の目標・方針

■ プランの目的

防災性の向上など地区におけるまちづくりの課題を克服するため、まちづくりを行政に一方的に委ねるのではなく、住民自らが積極的にまちづくりに参加し、お互いの役割分担を考えながら、このまちをより良くするための取り組みを進めていき、地域住民が安心して暮らせる、美しいまちを育てていくことを目的とする。

（「住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画」より）

■ 三つのまちづくり目標

- ・「ガス山通りや大沢谷戸などを安全で明るい通りにしよう」
- ・「防災公園を整備しよう」
- ・「美しいまちにしよう」

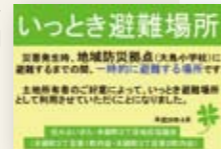
（「住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画」より）

■ できるところから、見えるかたちで 実現する

この地区内には公園や広場がなく、防災公園の整備が地域の大きな目標となっているが、一方で、早期に実現でき協議会の活動をわかりやすく地域に示せる取り組みとして、重点プロジェクトの一つである「いっとき避難場所」の整備を進めている。

■ 公園以外のいっとき避難場所の確保

災害時のいっとき避難場所となる防災公園・広場を地区内にくまなく整備することは難しいことから、地区内にある広めの駐車場などのオープンスペースを災害時に一時的に利用させていただくための「いっとき避難場所」を確保していきます。

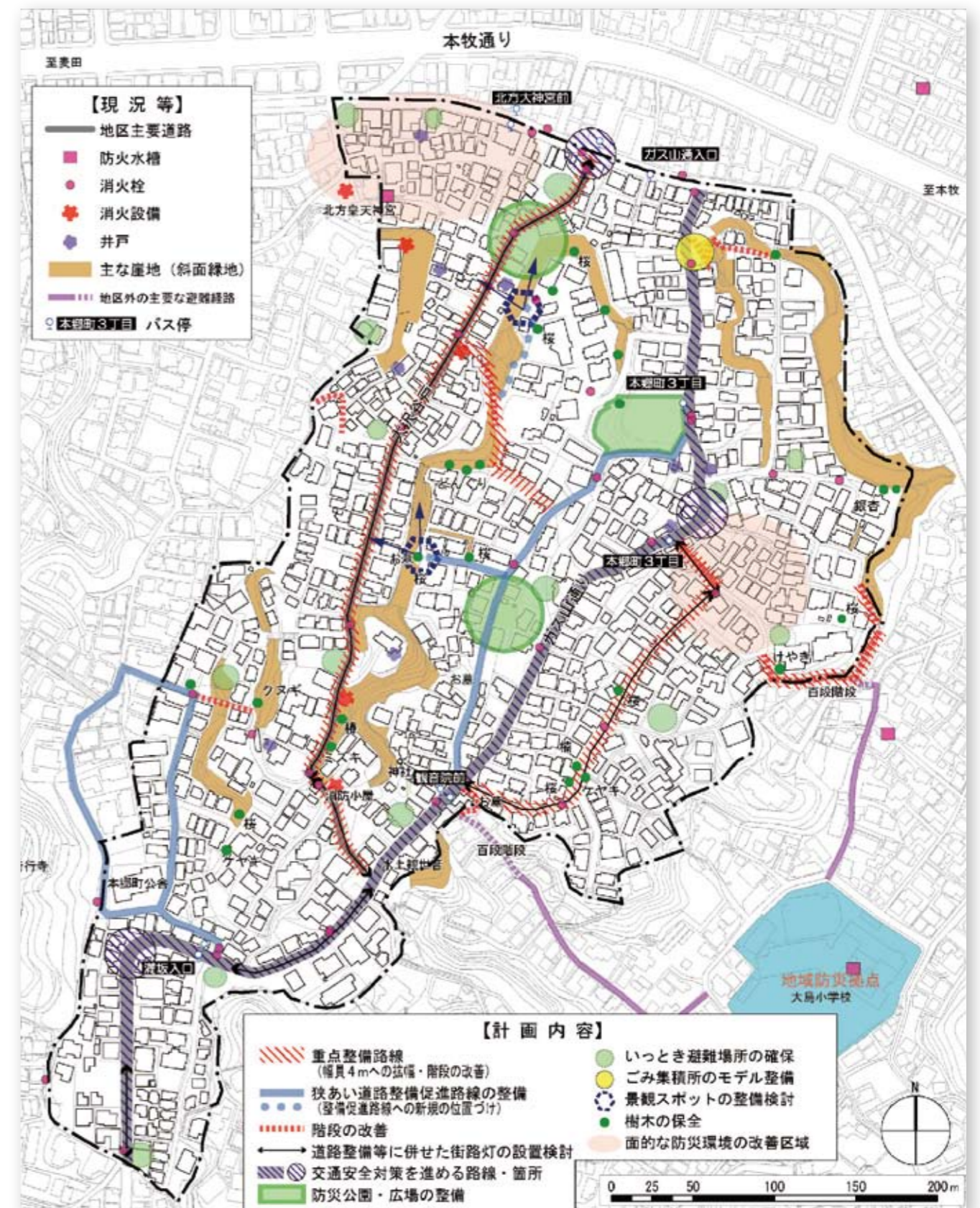


〈対象地のイメージ〉

- ・ 道路付けの良い広めの駐車場や空き地
 - ・ 空き家となっている建物を除却した後の空き地
- 〈用地確保や住民への周知の方法〉
- ・ ご理解をいただける土地の所有者と協議会との間で「利用協定」を結ぶ
 - ・ 「いっとき避難場所」の標識を作成し、分かりやすい場所に設置する

（「住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画」より）

計画図



（「住みよいまち・本郷町3丁目地区協議会 防災まちづくり計画」より）